

満を持して登場した Borlandの新しい顔

Webからは無料版がダウンロードできて嬉しさ100倍

野戸 美江
NOTO, Yoshie

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

Borland C#Builder for the
Microsoft .NET Framework

Level



Samples

※付録CD-ROMのC#BuilderEnt_Trialディレクトリに「Borland C#Builder Enterprise 30日トライアル版」を収録しています。詳細は、P212をご覧ください。

.NET Framework向け 開発環境C#Builder

C#Builderの正式名称は「Borland C#Builder for the Microsoft .NET Framework」で、マイクロソフトの.NET Frameworkのライセンスを受けた.NET統合開発環境です。

.NET Framework SDK 1.1が付属しており、これをコンパイラとして利用し、その上でC#Builderを使って.NET対応アプリケーションを開発します。したがって対応OSは、Windows 2000 Professional/Server、XP Professional、Server 2003となり、IISが付属しているNT系に限られます。

米国では2003年6月下旬に出荷を開始しましたが、日本語版は7月8日に発表され、8月4日に出荷が開始されました（Architect版のみ、2003年9月出荷開始）。

ルック&フィールは、Visual Studio .NETやSharpDevelopとよく似ており、移行ユーザーはもちろん、新規ユーザーもすぐに使いこなせます（図1）。

周知の通りC#言語は、Javaに対抗す

るためにマイクロソフトが生み出したオブジェクト指向言語です。Javaとえば、ボーランド社には、連綿と培われてきた生粋のJava言語開発環境JBuilderがあります。そのほか、Object Pascal言語の開発環境Delphiもあり、これは.NET Frameworkにも対応しました。

そして、今年になってボーランド社は“Sidewinder”という開発コード名の、完全なC#言語による.NET開発用の開発環境プロジェクトを発表しました。ソフトウェア開発ツールのトップベンダーであるボーランド社が、とうとうマイクロソフトの牙城に触手を伸ばしたという感がありましたが、そのSidewinderの製品化第1号が「C#Builder」になります。

Sidewinderプロジェクトでは、完全なC#言語による企業向け.NET開発用ツールとして、次の3つに重点が置かれ、開発が進められました。

- ・アプリケーションライフサイクルのあらゆる段階をひとつのシームレスな.NETソリューションに統合する
- ・異種環境に適応する.NET開発ソリュー

図1：Windows フォームにおけるメインメニューの作成

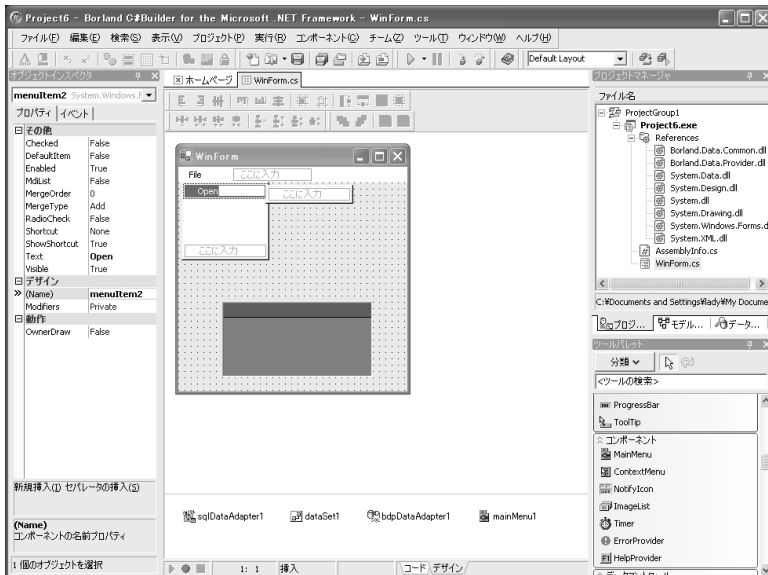
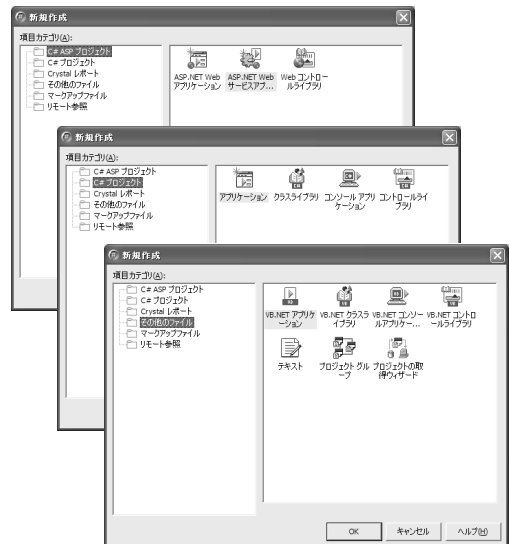


図2：Windows/Web アプリ、Web サービスなどさまざまなプロジェクトを作成可能



ーションを提供し、マルチベンダープラットフォームとして統合する

- モデル駆動の開発によってRADを超えるアプリケーション開発を促進する

C#Builderも、もちろんこれらの特性を内包しており、全機能を搭載した Architect 版のほか、Enterprise 版、Professional 版、そして基本機能のみの個人ユーザー向け Personal 版など、用途／ニーズに合わせて4段階のラインナップが用意されています（各エディションの違いについては後述します）。

開発可能なプロジェクトと提供されるコンポーネント

C#Builderは、Windows フォーム／Web フォーム、ASP.NET、ADO.NET を含めた .NET Framework に完全対応しています。デスクトップはもちろん、社内業務／Web アプリケーション、

Web サービス、サーバーコンポーネントなどを開発できます（図2）。

なお、フォームデザイナーは、Windows アプリケーション用の Windows フォーム、ASP.NET アプリケーション用の Web フォーム、HTML ページ作成の際に使用できます。

独自コンポーネント

C#Builderには、標準の .NET コンポーネント（.NET Framework）のほか、Visual Studio .NET にはない独自のコンポーネントが搭載されています（図3）。ここでは、C#Builder 独自のコンポーネント「Borland Data Provider for ADO.NET（以下BDP for ADO.NET）」および「ComponentOne」について紹介します。

データアクセスコンポーネント

ADO.NETは、.NET Frameworkに

おいて、ネイティブデータベースやXML データに基づくデータベースアクセスを統一的に管理するための技術です。BDP for ADO.NETは、このADO.NET に完全対応したデータアクセスコンポーネントで、既存のプログラムを変更せずに他のデータベースに移行できます。C#Builderで作成した.NETアプリケーションからMicrosoft SQL Server、Oracle、IBM DB2、Borland InterBaseなどの主要なデータベースと連携することができます（図4）。

ComponentOne コンポーネント群

C#Builderでは、ComponentOne社が開発／発売を行なっている.NET Framework用のComponentOneコンポーネント群が標準装備されています。ComponentOne社は、APEX Software社とVideoSoft社の合併によって誕生した、米国最大手のコンポーネントベンダーです。